

## 平成24年度事業報告について

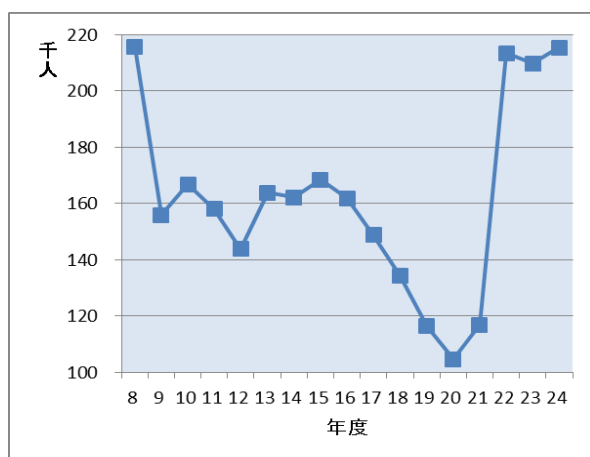
### I はじめに

当財団は、伝統産業の振興を目的に平成8年7月に設立され、京都の伝統工芸品を一堂に集め、市民や観光客に体系的に紹介する国内でも有数の展示場「京都伝統産業ふれあい館」の運営を、開館当初より、京都市から受託している。

「ふれあい館」の来館者数は長期的な減少傾向にあったが、平成20年度に底を打った後、平成21年度は前年度比11.8%増、平成22年度は前年度比82.5%増となった。平成23年度は震災の影響で前年度比1.7%減だったが、平成24年度は2.6%増の215,281人、281人と、3年連続で20万人台を維持し、開館当時の賑わいを取り戻した。

これは、市内ホテルや旅館、旅行会社等に地道に足を運びPRを続けてきたことや、職人の製作実演や舞妓舞台が「ふれあい館」の見所として広く周知されたためである。

しかしながら、来館者数が伸び悩んでいることから、展示内容の見直しも含め「ふれあい館」の魅力の向上と広報宣伝活動等の充実を図っていく必要がある。



<来館者数の推移>

年度	来館者数(人)	前年度比(%)
20年度	104,601	-10.1
21年度	116,927	+11.8
22年度	213,395	+82.5
23年度	209,800	-1.7
24年度	215,281	+2.6

年度 月	平成24年度 来館者数(人)	平成23年度 来館者数(人)	前年度比 (%)
4月	20,049	14,998	+34
5月	18,372	17,291	+6
6月	13,872	15,801	-12
7月	13,523	14,514	-7
8月	21,004	16,372	+28
9月	20,741	20,831	0
10月	23,221	23,645	-2
11月	19,006	23,683	-20
12月	13,061	12,646	+3
1月	15,845	13,693	+16
2月	15,138	14,798	+2
3月	21,449	21,528	0
年度計	215,281	209,800	+3

また、京都の伝統工芸品の素晴らしさを全国にPRする事業として、インターネットを活用したショッピングサイト「京もの専門店『みやび』」を平成24年3月26日にオープンした。平成24年度の総合アクセス数20,576件、売上件数317件、売上金額1,927,474円とサイトとしての認知度はまだまだであるが、アクセスの内、40%は関東、20%は近畿と、今後、多方面への京都の伝統工芸品の販路拡大が期待できる。

## II 事業

### 1 常設展示事業

展示の魅力向上と入館者へのサービス向上のための取組を実施した。

- ① 常設展示場内で団体の見学者に対し、京都の伝統産業の歴史と概要、日常生活と伝統工芸品を紹介した。(67回/2, 835人)

学校やグループ、外国人観光ツアー団体などに対しては、見学に合わせて説明も行っており、大変好評。(17団体/323人)



- ② 業界団体の協力を得て、四季折々の魅力ある展示替えを実施。(100回/618点)
- ③ 京都検定合格者で組織するNPO法人「京都観光文化を考える会 都草」の協力を得て、伝統産業の背景となる京都の文化や歴史などを来館者に解説した。(土・日各1名で延べ100人)

### 2 企画事業

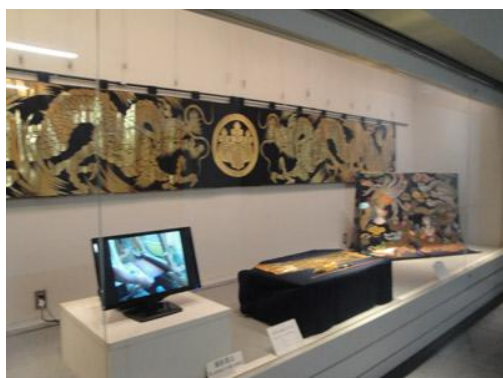
#### (1) ギャラリー

- ① 業界団体の協力により、「西陣金襴の美を訪ねて-西陣が世界に誇る美術織物の集大成-展」や「京漆芸美展-japan という名の小宇宙-」など、10回の企画展示を実施。企画展ごとに展示チラシを作成し、広報宣伝活動を行った。

〈参考〉ギャラリー取材件数

	テレビ	新聞	ラジオ	その他
24年度	7件	16件	2件	7件
23年度	10件	12件	2件	5件

- ② 「京都市博物館ボランティア 虹の会」の協力を得て、展示内容の解説資料を基に、ギャラリー展示品の紹介や来館者とのコミュニケーションに努めた。(土・日各2名で延べ184人)



(写真：西陣金襴の美を訪ねて)



(写真：京漆芸美展-japan という名の小宇宙-)

## (2) イベントルーム

当財団主催の企画展や関連業界団体との共催事業、常設展示との相乗効果が期待できる展示会、体験教室などを実施した。(26事業/延べ138日)



(写真：みやこ技塾)



(写真：陶展)

## 3 普及啓発事業

### (1) 製作体験・実演事業

#### ① 摺型友禅染体験教室

平日は、予約制により修学旅行生や団体を中心に受け入れ、土・日・祝日は、家族連れや少人数グループを随時受け入れた。

<年度別参加人数>

	参加者数(人)	前年度比(%)
21年度	3,941	-17%
22年度	4,471	+13%
23年度	3,963	-11%
24年度	3,481	-12%



(写真：摺型友禅染体験)

- ② 夏休み親子体験教室や京繡教室の実施  
     夏休み親子体験教室（陶磁器絵付け体験） 6回／参加者数 82人  
     京繡教室（春・秋） 4回／参加者数111人
- ③ 旅行エージェント260か所に対し、「ふれあい館」のパンフレットを送付し、団体客の送客を依頼した。
- ④ イベントルームを活用して京繡教室参加者の作品を展示し、優秀作品に表彰状を贈呈した。（作品展開催2回／出展作品70点）

## （2）講演会事業

伝統産業や伝統文化への理解を深めていただくことを目的にセミナーを開催した。

[第1回] 平成24年12月16日（日）

「京野菜とおせち」

講師 石割 照久（京都伝統野菜生産農家）

参加者 105名

事前申込 197名

[第2回] 平成25年1月26日（土）

「京の儀礼と作法～その心とならわし～」

講師 岩上 力（儀礼作法研究会代表）

参加者 132名

事前申込 191名

[第3回] 平成25年3月16日（土）～17日（日）

「ふれあい館ミニセミナー」（「伝統産業の日2013」事業）

講師 吉岡一郎（京繡）、中澤孝司（京仏壇、京仏具）

参加者 80名



（写真：第1回セミナー 石割照久氏）



（写真：第2回セミナー 岩上力氏）

## 4 広報広聴事業

### (1) 広報宣伝活動

「ふれあい館」を周知し、より多くの方に来館していただけるよう以下の取組を実施。

#### ① 「匠と舞」事業の広報PR

- ・京都市観光協会、市内の主要ホテル、JR東海京都観光コーナー（東京、品川、新横浜、静岡、浜松）にてチラシを配布
- ・アメリカやオーストラリアなど京都市観光MICE推進室所管の京都市海外情報拠点にてチラシを配布

#### ② 修学旅行・市内小学校からの誘客の取組

- ・京都市観光協会に対し、修学旅行相談所で教師向けの周知を依頼
- ・京都修学旅行生ナビへの掲載のほか、修学旅行パスポート事業へ参画
- ・市内の全小学校に「ふれあい館」チラシを配布し、課外学習での利用を依頼。また、「わたしたちの伝統産業」（小学校4年生社会科副読本）を市立小学校へ送付する際に、「ふれあい館」パンフレットと「匠と舞」チラシを同封

#### ③ 外国人観光客集客の取組

- ・市内主要ホテルを定期的に訪問し、英語版チラシの配布と送客を依頼
- ・英語版京都フリーウォークサイト  
京都フリーウォークサイトにて携帯型音楽プレーヤーに伝統産業6業種（西陣織、京友禅、京仏壇、京仏具、京漆器、京焼・清水焼）を英語で紹介し、携帯型音楽プレーヤーにダウンロードできる音声ガイドシステムを構築  
(ダウンロード実績 41, 124件)

#### ④ その他の取組

- ・「ふれあい館」のチラシや「ふれあい館」が掲載されているマップを、ホテル、旅館、旅行会社などに配布
- ・テレビ、新聞などマスコミへ掲載や取材協力を積極的に依頼
- ・京都市勧業館はもとより、岡崎周辺の文化施設での大規模催事などの際に、チラシの配布等を行い、「ふれあい館」へ誘導
- ・「伝統産業の日2013」のガイドブックに「ふれあい館」の広告を掲載
- ・利用者からの声を受けて館内BGMを変更

### (2) 広聴活動

ご意見承り箱の設置（ギャラリーと展示場に設置）

回答158人 「良かった・感動した」116人

要望・苦情 42人

主な要望・苦情

- ・撮影を禁止するのはおかしい。撮影可能の方が宣伝になるのではないか。
- ・もっと触れられるモノを増やすべき。見学だけでは物足りない。

## 5 ～光る技、伝統が舞う～「匠と舞」事業

地域における雇用機会の創出と将来の需要開拓に向けた取組の実施を図るため、国の緊急雇用対策交付金を活用した京都市からの受託事業として、平成21年6月より「匠と舞」事業を実施している。常設展示場において職人による伝統工芸品の製作実演を行うとともに、歩く伝統産業ともいえる舞妓さんによる舞台を披露し、「ふれあい館」への集客や伝統産業の積極的なPRを図った。

### (1) 製作体験

伝統産業職人を講師に迎え、製作体験教室を実施。延べ47人の参加があり、思い出に残る作品ができたと大好評

「伝統の儀礼調度品と作法～こころを結ぶ～」(全3回)

平成24年12月1日／京友禅

平成25年1月12日／水引工芸

平成25年1月19日／京念珠

### (2) 匠による製作実演

月曜日を除く毎日(月曜日が祝日に当たる場合は実施)、伝統工芸品の製作実演を行うことで、来館者には製作工程に触れ、職人さんとの会話を楽しんでいただいた。この事業を開始してからは、伝統工芸品をゆっくりと時間をかけて見学される方が増えた。また、来館者のリピーターが増え、展示品の見方が変わったと大変好評



(写真：実演の様子 京人形)



(写真：実演の様子 京竹工芸)

### (3) 舞妓の舞台

毎週日曜日に、花街の舞妓さんによる舞台を開催し、舞妓の衣装や装飾品に使われる各種の伝統工芸品(西陣織、京友禅、花かんざしなど)の解説などを通して、京都の花街の伝統と文化を支えてきた伝統産業をPRした。地方からの団体や外国人など来館者が大幅に増加した。

舞台をきっかけに、「ふれあい館」や京都の伝統産業を知られた方も多く、舞台の後、館内を見学したり、職人実演ブースに立ち寄られることが多くなった。



(写真：舞妓舞台)

## 6 京の「匠」ふれあい事業

京の「匠」ふれあい事業は、市民、観光客への伝統産業のPRと不況で仕事が激減している伝統産業従事者の雇用創出を目的に実施している京都市独自の雇用対策事業で、当財団では制度発足の平成17年度から事業を受託している。

伝統産業従事者を講師や指導者として雇用し、伝統工芸の匠の技を生かした製作体験教室や職人の製作実演を行い、参加者に伝統産業の技術に対する関心を深めていただいた。

また、職人の拡充を行い、より広範囲で職人さんの技術・技法をご覧いただけた。

### ① 製作体験教室

指導者として延べ399人雇用（P. 3普及啓発事業（1）①②参照）

- ・摺型友禅染体験教室
- ・夏休み親子体験教室（陶器絵付体験）
- ・京繡教室（春・秋）

### ② 職人製作実演

京都駅、「ふれあい館」での実演で延べ70人雇用

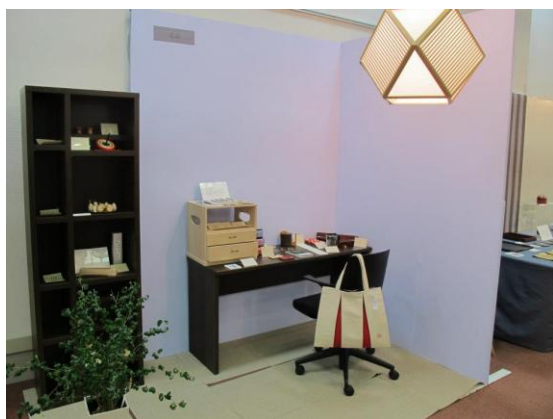
## 7 伝統産業の日事業

「伝統産業の日2013」関連事業として、3月15日（金）～17日（日）の3日間、京都市勧業館みやこめっせ内に「京もの専門店『みやび』特別ショップ」を開催。

昨年3月末にオンラインショップ『みやび』をオープンして以来、3日間の期間限定ではあるが、初めて実店舗を展開し、伝統工芸品の販売を行った。

<内容>

- ・京滋インテリア協会の協力を得て、来場者の皆様に「和のある暮らし」を提案するというコンセプトの下、書斎やダイニングを再現、視聴覚に訴えた商品展示を意識し、更に、伝統工芸品を身近に感じていただくため、職人さん実演コーナーも設置（470品目出展／3日間売上合計305,796円）
- ・また、「光る技・伝統が舞う～匠と舞～」(参加者5,500人)、伝統工芸ミニセミナー(参加者80人)も実施



(写真：『みやび』特別ショップ)



(写真：ミニセミナー)

## 8 伝統産業製品の提供事業

京都の伝統産業関連団体などと連携し、近年、市場を大きく伸ばしているウェブ上において京都の伝統工芸品を販売する場を提供する。

ウェブ上での販売を通じて消費者のニーズを収集し、生産者である京都の伝統産業関連団体などにフィードバックすることにより、現代の消費者にマッチした製品づくりを促し、京都の伝統産業の活性化を図るため、平成24年3月、インターネットの楽天市場に「京もの専門店『みやび』」をオープンした。

主な購買層は、年齢別では30～40歳代が全体の6割強、性別では女性が半分以上を占め、地域別では関東45%・近畿25%・東海10%だった。

＜楽天サイトによる売上実績＞

平成23年度

掲載 157品目

販売 4件／ 23,720円

平成24年度

掲載 304品目

販売 317件／1,927,474円



（京もの専門店みやび：ウェブサイト）

## 9 図書室利用状況

平成24年度の図書室の入室者は13,015人、貸出冊数は766冊

＜利用状況＞

年度	入室者（一日平均）	前年度比	貸出し冊数（一日平均）	前年度比
24年度	13,015人（37人）	+10%	766冊（2.2冊）	+1%
23年度	11,882人（33人）	+6%	761冊（2.1冊）	-16%
22年度	11,195人（31人）	+18%	903冊（2.5冊）	-17%

## 10 本願寺文化交流財団の事業に対する協力

一般財団法人本願寺文化交流財団が京都市、国際交流基金と共催したパリ（フランス）、コロンボ（スリランカ）での特別展示「日本人『智慧』展」において、京都市所蔵の伝統産品（20点）を貸し出すとともに、2会場での搬入、搬出等の出展協力を行った。

＜展示概要＞

### （1）パリ会場

「京都市、パリ日本文化会館提携記念 日本人の智慧—ネオ・ジャポニズム1」展  
パリ日本文化会館（国際交流基金所有）

平成24年4月17日～5月5日

### （2）コロンボ会場

「日本スリランカ修好60周年記念事業 日本人の智慧—京都文化」展  
バンダラナイケ・メモリアル・IN/Cホール（スリランカ政府保有）

平成24年7月13日～7月27日